



猿楽だより

渋谷区立猿楽小学校
令和7年4月30日
No.2

温かいコミュニケーションで自他共の幸福を

副校長 市川 愛美

4月から気持ちも新たにスタートした猿楽小も、順調に学級開きや各教科開きが終わり、児童は皆、期待と誇りに満ちた、良い表情で各学年の取組に向かっています。

保護者の皆様におかれましては、18日の保護者会へ御参加いただきまして、ありがとうございました。今年度も御協力いただけますようお願いいたします。

また、4月19日（土）には、PTAの皆様が鯉のぼりを揚げてくださいました。鯉のぼり設置後、初めて児童が登校してきた21日（月）は澄み切った青空で、児童も鯉のぼりを少しまぶしそうに見上げていました。場所や労力の関係で、大きな鯉のぼりを揚げることは少なくなっている中、このようにPTAの皆様の力で、伝統行事を児童に体験させていただけることは、本当にありがたく存じます。



17日には「1年生を迎える会」がありました。1年生は緊張しながらも練習の成果を発揮して、皆で声を揃えて上級生に呼びかけることができ、とても可愛らしく、見事でした。

さらに、素晴らしかったのは、その1年生を見守る2年生以上の児童の温かい眼差しや、話を聞く態度です。1年生への受容や励ましの気持ちが態度に表れていて、なんとも心温まる時間でした。上級生の代表として1年生に向かって話した6年生の児童も、言葉も態度もとても立派で、今年度、これからの猿楽小を素敵にリードしてってくれるだろうと、頼もしくなりました。

さて、今年度の本校の重点の一つとして「温かいコミュニケーション」があります。1年生を迎える会での、1年生の一生懸命伝えようとする姿、2年生以上の温かく見守る姿、6年生のはっきりと分かりやすく話そうとする姿、全て「温かいコミュニケーション」だと思います。このような「温かいコミュニケーション」が、いつでも、学校中に、広がるようにして参ります。

「温かいコミュニケーション」は温かい言葉から。子供たちに紹介したくて、北原白秋の「ひとつのことば」を校内に掲示しました。まだまだ短文や単語で話すことが多い子供たちですので、特に「ひとつのことば」を大切にして、温かいコミュニケーションをしてほしいと思います。

「ひとつのことば」 北原 白秋



「ひとつのことば」で けんかして	「ひとつのことば」で なかなおり
「ひとつのことば」で 頭が下がり	「ひとつのことば」で 心が痛む
「ひとつのことば」で 楽しく笑い	「ひとつのことば」で 泣かされる
「ひとつのことば」は それぞれに	「ひとつの心」を持っている
「きれいなことば」は きれいな心	「やさしいことば」は やさしい心
「ひとつのことば」を 大切に	「ひとつのことば」を 美しく